

地域におけるスポーツイベントの事例研究 (3)

— 古市杯バレーボール交歓会参加者の満足度から —

幸田三広*、平畑幸作*、藤岩秀樹**、折本浩一***、平松 携****

On the Case Study of the Sport Event in the Community (3)

— From Analyzing Satisfaction of the Furuichi Cup Junior Volleyball Meeting —

Mitsuhiro KOTA, Kosaku HIRAHATA, Hideki FUJIIWA,
Koichi ORIMOTO and Sugaru HIRAMATSU

Abstract

Our aim of this study is to propose the ideal way of independent community sport events by the analysis of the 1 to 5 scale of satisfaction according the events. The subject is leaders who participated in The Furuichi Cup Junior Volleyball Meeting, which is well organized and not dependent on the public administration. As a result of the investigation, it suggests that the team leaders who were involved in the event expressed highly satisfaction for the meeting. But some items of questionnaires indicate that the team leaders who take winning the game seriously tend to be lower on the satisfaction scales. Several points are discussed for the improvement of planning or management.

Key words: Sport Event, Volleyball Meeting, Satisfaction

1. はじめに

近年の社会環境、スポーツを取り巻く環境の変化の中で、スポーツ振興法第4条に基づく「スポーツ振興基本計画」が2000年9月に策定された¹⁾。

スポーツ振興施策の展開方策の一つに「生涯スポーツ社会の実現に向けた、地域におけるスポーツ環境の整備充実方策」がある。これは「2010年(平成22年)までに、全国の各市区町村において少なくともひとつは総合型地域スポーツクラブを育成する」という到達目標のもと、総合型地域スポーツクラブの全国展開がなされており、各地でその試みが実施されている。

スポーツ界においても、様々な試みが展開されており、例えば、1993年にはサッカー界においてプロサッカーリーグである“Jリーグ”が発足し、フランチャイズ制のもと地域に根ざしたクラブ運営がなされ、“総合型地域スポーツクラブ”への足掛かりとなる組織化が始まった。

一つの成果として、日韓共同で開催された2002年サッカーワールドカップでの日韓両チームの活躍

は世界を驚かせ、開催両国での国民の盛り上がりは記憶に新しいところである。とりわけ地元開催地での熱狂振りは予想以上のものであった。

また、地域においては、少子高齢化等の対策として老若男女、指導者、選手を織り交ぜた各種スポーツイベントを開催し地域の活性化に努めている。筆者が前回報告した²⁾⁴⁾山口県大島郡で開催されている「サザン・セト大島少年サッカー大会」も地域活性化を目指した行政主導の地域スポーツイベントのひとつである。

本研究では、このような背景の中、広島市安佐南区古市地区で古くから地域の活動として親しまれていたスポーツイベントを復活させたバレーボール大会に着目し、行政に頼らないいわゆる地域主導の地域スポーツイベントの企画および運営の方策を見出すための基礎的研究として、参加チームの引率指導者を対象にアンケート調査を実施し、「大会の企画と運営についての満足度」から今後の地域スポーツイベントのあり方を提案するための基礎資料を得ることを目的とした。



写真1：開会式の様子（第8回大会から）

広島市安佐南区古市地区は古くからバレーボールが盛んな地域である。古市小学校は元バレーボール全日本代表の名セッター猫田勝敏選手の出身校で、そのすばらしい活躍により古市小学校を中心としたバレーボール大会が開催されるようになった。ある時期、大会が開催されない期間があったものの過去の運営形態を見直し、平成9年に「古市杯バレーボール交歓会」として復活した。

大会の概要は以下の通りである。

- ①初回大会：平成9年（1997）
- ②主 催：古市バレーボール少年団
- ③開催期間：2日間（1～2月）
- ④参加対象：5年生（新6年生）
- ⑤参加形式：指定招待
- ⑥会 場：広島市安佐南区スポーツセンター等
予選3会場（1日目）
決勝2会場（2日目）
- ⑦チーム数：男女各16チーム、計32チーム
- ⑧参加料：1チーム5,000円
- ⑨競技方法：予選はリーグ戦方式（1日目）
決勝はトーナメント方式（2日目）
- ⑩試合数：1チーム7～8試合（2日間）

3. 方法

本研究では、広島県広島市安佐南区に所在する、広島市立古市小学校を主体とした「古市バレーボール交歓会」参加チームの引率指導者と引率保護者にアンケート調査を実施した。引率保護者も大会参加において生活指導やチームのマネジメントを行っておりアンケートの対象とした。本大会の参加選手が小学生であることを考えると、これらの調査対象者の意見は実際の大会運営に大きく反映するものと考えられる。

3.1 調査の内容

アンケート調査のカテゴリーについては折本ら²⁾を参考に、

- ①基本的属性について
- ②大会の運営について（満足度）
- ③大会の企画について（満足度）
- ④大会の現状と課題について
- ⑤プロ（Vリーグ）との関わりについて
- ⑥ビッグイベントとの関わりについて
- ⑦メディアとの関わりについて

の7カテゴリー49項目からなる質問紙調査を実施した。なお、②及び③の大会満足度の項目については5段階評定尺度を用いた。

3.2 期間

質問紙は2000年2月12日（大会期間中）に配布し、回収は2000年2月19日までに回答用紙を各チームまとめて返信してもらう郵送法をとった。

3.3 対象

第4回古市杯バレーボール交歓会（2000年）に参加した男女各16チームの指導者と引率保護者112名を対象とした。

3.4 回答

99件の回答で回収率は88.4%であった。

3.5 分析

分析は単純集計、ならびに一元配置の分散分析を用いた。分析結果の有意水準については、いずれの場合も5%未満の危険率で判定を行った。

4. 結果

4.1 チーム形態と大会満足度の関係

調査対象者が所属するチームの形態と大会満足度の関係を表1.に示した。

チーム形態をみると、「スポーツ少年団」が66.7%、「小学校内のクラブチーム」が17.7%、「小学校外のクラブチーム」が15.6%で、過半数のチームが「スポーツ少年団」であった。

チーム形態と大会満足度の関係をみると、「スポーツ少年団」に比べ「クラブチーム」の満足度が多くの項目で低い傾向にあった。とくに「試合数」、「参加チーム数」、「試合会場」、「参加費」の項目では有意であった。

4.2 競技レベルと大会満足度の関係

チームの競技レベルと大会満足度の関係を表2.に示した。

自チームの競技レベルを「都道府県大会レベル」と回答したチームが47.1%で最も多く、次いで「市町村レベル」26.4%、「地域ブロックレベル」16.1%、「全国大会レベル」10.3%の順であった。

競技レベルと大会満足度の関係では、競技レベルが高いほど各項目の満足度が低く、逆に競技レベルが低いほど各項目の満足度が高い傾向にあった。とくに「試合終了時刻」、「懇親会の開催時期」、「懇親会の内容」の項目では有意であった。

4.3 チームの活動目的と大会満足度の関係

チームの活動目的と大会満足度の関係を表3.に示した。

チームの活動目的としては、「競技力・技術の向上」と「スポーツの楽しさを知る」と回答したものがともに30.6%と最も多く、次いで「ルールやマナーを身につける」が17.3%、「勝つため」11.2%、「その他」10.2%であった。

活動目的と満足度の関係をみると、勝敗にあまりこだわらないチームほど満足度が高い傾向にあった。とくに「競技規則」、「審判技術」、「補助役員数」、「試合会場」、「会場の設備」、「開催日」の項目では有意であった。

5. 考察

2004年で8回目を終えたこの大会は、運営形態を見直して復活し指定招待の参加形式で開催されている。これは大会の競技レベルを保ちたいという主催者側の意向で全国的な大会で優勝するようなチームを招待するというものである。これにより大会の競技レベルは高いレベルで保たれ、参加チーム数(男女各16チーム)も固定しているため運営形態もほとんど変わっていない。

参加チームの指導者および引率保護者に対するアンケート調査の結果では、本大会に対する満足度は総体的には高いものであった。この大会は、よくある行政主導型のスポーツイベントではなく単独スポーツ少年団が主催するまさに地域主導型のスポーツイベントである。大会の運営をスポーツ少年団の保護者や地元高校バレーボール部員がボランティアとして全面協力していることなどを考えると十分な成果をあげていると言ってもよい。

しかしながら、大会に参加した競技志向の高いチームに着目すると、「審判」、「会場」、「開催日」、「懇親会」などの項目で必ずしも満足度が高いとは言えなかった。このようなチームの多くは、本大会に指定招待の形で参加したチームであろうし、またこのようなチームでは全国各地で開催されるさまざまな

大会に参加し大会を見る目が厳しくなっていることも考えられる。

長期的な視点にたつてこの大会を見た場合、個人的なつながりの中でボランティアを集め大会を運営するスタイルを発展させ、地域にしっかりと根付いた運営組織を構築して行くこと、そしていかに他大会と差別化を図っていけるかが、大会発展の大きな鍵となってくるものと考えられる。

6. まとめ

本研究の結果、以下の知見を得た。

- 1) スポーツ少年団の保護者や地元バレーボール部員がボランティアとして大会の運営に全面協力している本大会の満足度は総体的に高いものであった。
- 2) しかしながら、競技志向の高いチームにおいては、「審判」、「会場」、「開催日」、「懇親会」などの項目で必ずしも満足度が高いとは言えなかった。
- 3) 長期的な視点にたつて大会を見た場合、地域にしっかりと根付いた運営組織を作り上げ、いかに魅力ある大会プログラムを企画するかが大会発展の大きな鍵となるものと考えられた。

本研究の一部は日本体育学会第54回大会(2003.9)において発表した。

参考文献

- [1] 保健体育審議会(答申):スポーツ振興基本計画の在り方について—豊かなスポーツ環境を目指して—、2000.
- [2] 折本、幸田、谷岡、田口、富永:生涯スポーツ時代におけるスポーツ指導者の意識—少年サッカー大会のあり方を中心に—、広島体育学研究、第26巻、pp.67~77、2000.
- [3] 幸田、菱山、藤岩、折本、平松、平畑:地域におけるスポーツイベントの事例研究(1)—サザン・セト大島少年サッカー大会の開催経緯と現状—、大島商船高等専門学校紀要、第36号、pp.85~90、2003.
- [4] 幸田、菱山、藤岩、折本、平松、平畑:地域におけるスポーツイベントの事例研究(2)—サザン・セト大島少年サッカー大会がもたらした効果と課題—、大島商船高等専門学校紀要、第36号、pp.91~96、2003.

表1 チーム形態と大会満足度

	Mean±SD				
	スポーツ少年団 (n=64)	学校内クラブ (n=17)	学校外クラブ (n=15)	F 値	多重比較
	①	②	③		
試合数	4.64±0.72	4.00±1.06	4.07±1.03	5.64**	①>②、①>③
参加チーム数	4.52±0.82	3.65±1.12	4.60±0.83	7.18**	①>②、②<③
試合会場	3.78±1.15	3.18±0.81	4.13±1.19	3.21*	①>②、②<③
参加費	3.84±1.14	3.18±0.73	2.53±0.74	11.00***	①>②、①>③

***: P<0.001 ** : P<0.01 * : P<0.05

表2 競技レベルと大会満足度

	Mean±SD (n)					
	全国大会レベル	地域ブロックレベル	都道府県大会レベル	市町村大会レベル	F 値	多重比較
	①	②	③	④		
試合終了時刻	3.78±1.30 (9)	3.93±1.33 (14)	4.61±0.74 (41)	4.52±0.79 (23)	3.36*	①<③、①<④、②<③
懇親会の開催時期	3.00±1.41 (5)	3.75±0.97 (12)	4.33±0.92 (30)	4.26±0.99 (19)	3.29*	①<③、①<④
懇親会の内容	3.00±0.00 (4)	3.80±1.03 (10)	4.41±0.97 (27)	3.94±1.00 (18)	3.11*	①<③

***: P<0.001 ** : P<0.01 * : P<0.05

表3 活動目的と大会満足度

	Mean±SD						
	競技力・技術向上 (n=30)	勝つため (n=11)	ルール・マナー (n=17)	スポーツの楽しさ (n=30)	その他 (n=10)	F 値	多重比較
	①	②	③	④	⑤		
競技規則	3.97±1.00	4.46±0.93	4.47±1.01	4.73±0.69	4.70±0.68	3.22*	①<④、①<⑤
審判技術	3.07±1.20	4.18±1.17	3.88±1.17	3.80±1.32	3.20±1.32	2.64*	①<②、①<③、①<④
補助役員数	3.83±0.99	4.09±1.30	4.35±0.93	4.60±0.81	4.80±0.42	3.57**	①<④、①<⑤
試合会場	3.33±0.99	4.00±1.18	4.18±1.02	3.97±1.19	3.30±0.95	2.67*	①<③、①<④、③>⑤
会場設備	3.70±1.12	2.73±0.91	4.47±0.80	4.53±0.78	4.00±1.05	9.28***	①>②、①<③、①<④、 ②<③、②<④、②<⑤
開催日	3.53±1.31	3.00±1.18	4.00±0.94	4.60±0.89	4.10±0.99	5.96***	①<④、②<③、②<④、 ②<⑤

***: P<0.001 ** : P<0.01 * : P<0.05